# うさぎだより

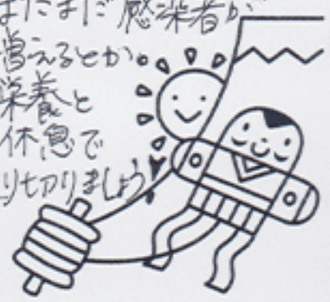
2025年 1月号 うさぎぶんこ

にょろにょろにょろ 生まれ変わって空まで伸びるぞ！

## 1月

2025年 明けまして
おめでとうございます。
暖冬と言われながらも新年になってから強風や冷たい雨で急に寒さが増してきましたね。
皆さんお元気でしたか。

年末から菊川の周りではインフルエンザやコロナの感染者が多く、救急病院では何日待ちで辛い思いをした人が多かったようでした。
まだまだ感染者が増えるとか。
栄養と休息で乗り切りましょう！



さて、今年は巳年です。そしてこの2025年の巳年は60年に一度巡ってくる乙巳の年で、しなやかな発想と成長の年と言われているそうです。これまでの努力や準備が実るという意味も含まれています。巳（へび）は脱皮を繰り返して成長していくことから、復活や再生のシンボルとして新しく生まれ変わって何かに挑戦してみるのも良い年になりそうです。

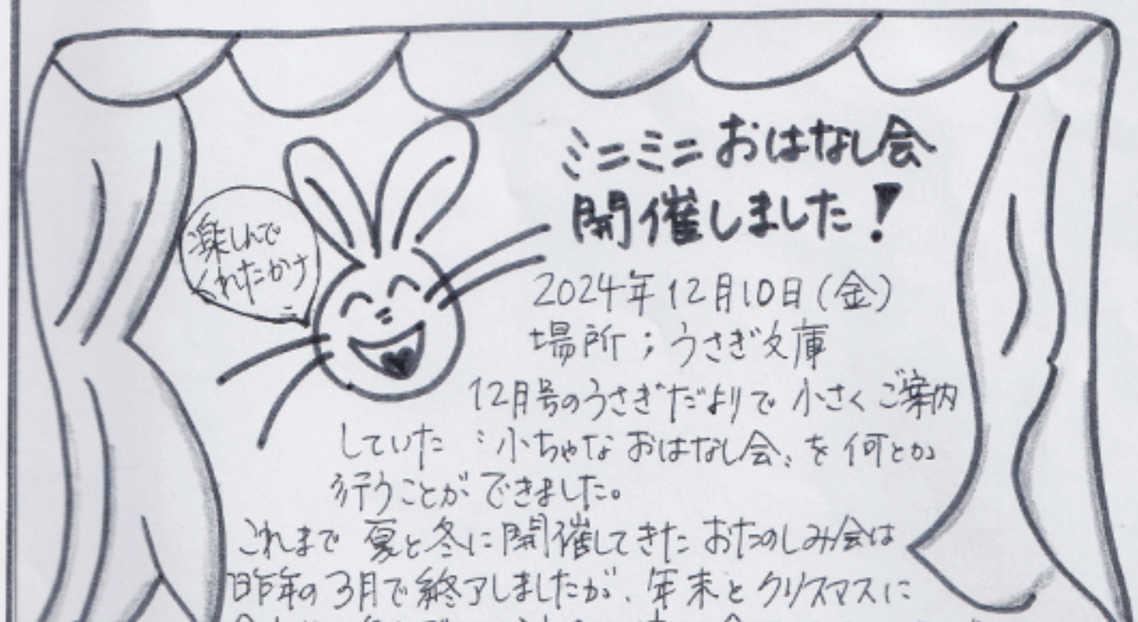
今年は元旦に下の娘が5年ぶりに帰省し、1週間我が家でゆっくり過ごすことができました。母は年末からおせちの準備や、食べたいものリクエストに応えるためほとんど台所に立っていましたよ。本当に久しぶりに家族がそろっての（にぎやかな）お正月となりました。ちょっと疲れましたが、松の内も明け、ぼちぼち日常に戻ろうと思っています。文庫もこれまで通り始まります。今年もどうぞよろしくお願いします。

ホームページアドレス usagi-bunko.com

2月の開室日…7日・21日（金）

私の好きな物は本です。
一日に5回い上は、
みます。マンシ
すんでいて、ョンに
読みかせてそこで、
ろうかを小さいこ
たらしてもらったに
かいものを好きになって
と思いときにびっくり
しまいたくさんに
ます。よく読みます。
大好きな本です。

赤ちゃんの時から文庫に来てくれているSちゃんの"こどもミニ作文コンクール"「ほんとのわたしのすきなもの」で書いた作文です。これを読んだお母さんが私にこっそり教えてくださった文章ですが、とっても嬉しくて感激!! Sちゃんの承諾を得てうさぎだよりに掲載させていただきました。
子どもたちと一緒に読む絵本の楽しい時間がとても幸せで細々と続けている文庫ですが、その子どもたちが成長して読書が楽しいと思ってくれている、やってきたことがしっかり実を結べる日がくることを願って。大人になってふと思い出してくれるといいな。




## ミニミニおはなし会開催しました！

2024年12月10日（金）
場所；うさぎ文庫
12月号のうさぎだよりで小さくご案内していた"小ちゃなおはなし会"を何とか行うことができました。
これまで夏と冬に開催してきたおたのしみ会は昨年の3月で終了しましたが、年末とクリスマスに合わせて久しぶりにこれまでの中で、今できるおはなしをさせていただきました。いつも来てくれている皆さんに向けての感謝の気持ちを込めて。とても楽しい、嬉しいひと時が過ごせました。ありがとう!!

ミニミニおはなし会では…
- てぶくろ（おはなしエプロン）
- ふたつのいちご（紙芝居）
- がまんのケーキ（パネルシアター）
- もぐらとずぼん（大型布製紙芝居）

「てぶくろ」は本当に久しぶりに披露しました。おはなしエプロン何にしようかなと思いましたが、冬なのでやっぱりこれがいいかなと。おじいさんの落としたてぶくろに次々と動物たちが仲良く入ると幸せな気持ちになります。

うさぎ文庫の電話番号 924-7234（菊川自宅FAX共）